

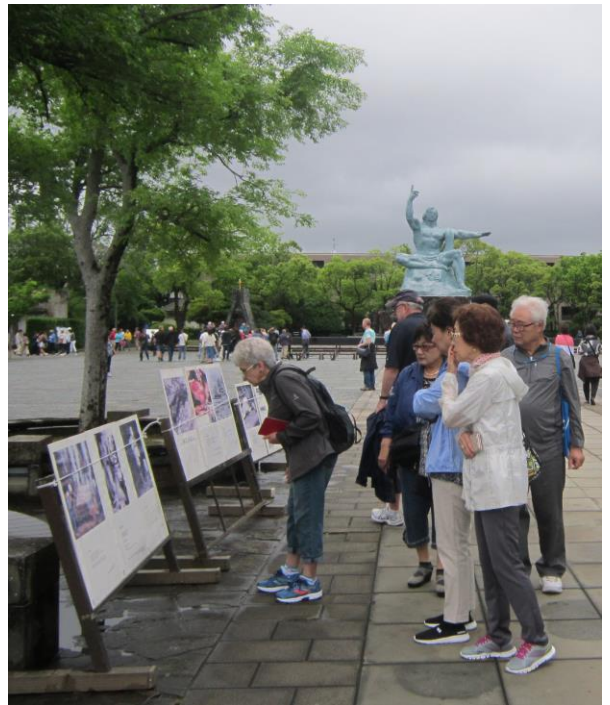
# 「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」 5月9日 平和公園での署名 15か国の人から120筆

## ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名

Sue survivors of the Hiroshima and Nagasaki nuclear weapons abolition of international sign

被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

Survivors seeks in every country that wishes the abolition of nuclear weapons, promptly, and the abolition of nuclear weapons, the Elimination of Treaty.



前日からの雨も署名直前に上がり、長崎港へ入港している大型客船からの観光客が、平和公園にたくさん訪れました。9の日署名で被爆写真展示、上記ボードで「新国際署名」を訴えました。

「オブコース」グッドアイデア」とたくさんの方がサインしてくれました。被爆写真の英語版説明をじっと見て涙流す人、「山で囲まれているから放射能は飛散しなかったのではないか」、「グランドゼロは……」「フクシマは……」など高い関心を示しています。120筆の署名が寄せられました。署名の96%が外国人、アイルランド、米国、スコットランド、オーストリア、イスラエル、ドイツ、オーストラリア、ニュージーランド、中国、コロンビア、英国、フランス、マレーシア、スペインの15か国。

長崎にいて国際的な署名行動になりました。

足を止める人が多い原爆写真展とその説明文展示は「核兵器の非人道性」について知ってもらうには効果的であり、充実させてさせることが必要だと参加者の意見。



9日には平和公園横の長崎原爆無縁死受害者祈念堂で11時2分、供養の読経が毎月行われます。今年3月に急逝された元光源寺住職の楠達也さんの思いが引き継がれています。